閲覧用

令和８年度
琉球大学大学院　農学研究科（修士課程）
学生募集要項

○第１期募集

一般選抜・社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高等学校教員）

出願期間	令和７年７月７日～７月２２日
試　　験	令和７年８月２２日
合格者発表	令和７年９月１７日

○第２期募集

一般選抜・社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高等学校教員）

出願期間	令和７年１０月７日～１０月２１日
試　　験	令和７年１１月１５日
合格者発表	令和７年１２月５日

琉球大学大学院　農学研究科

目　　次

１．研究科概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４．出願資格審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
５．出願期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
６．出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
７．研究指導に関する事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
８．試験の日時及び場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
９．選抜方法（入試科目）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
10．障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）・・・・・・１３
11．合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
12．入学手続等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
13．安全保障輸出管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
14．修学のための諸制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
15．個人情報の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
16．追加募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
17．問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
18．入試統計（志願者数、合格者数）の公開・・・・・・・・・・・・・・１５
19．過去問の開示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
20．研究指導教員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

受験に関する問い合わせ先及び学生募集要項等請求先

琉球大学農学部　学務係
〒903－0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
TEL　098－895－8738（直通）　FAX　098－895－8734
琉球大学農学部ホームページ　https://www.agr.u-ryukyu.ac.jp/

注：琉球大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項の郵送を希望する場合は，封筒の表に『琉球大学大学院農学研究科学生募集要項請求』と朱書きし，送付先を明記したレターパック（430 円）を同封して請求してください。

１．研究科概要

■入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．研究科・専攻の教育理念・目的

本研究科は,「２１世紀の地球化の時代に求められる，環境と調和した生物資源の安定生産と持続的利用を通じて豊かな社会の構築を目指す新たな農学」を基本理念とし，沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境及び歴史的・文化的特性に基づいた持続的食料生産，環境保全，資源・エネルギー利用及び長寿・健康に関する教育と研究を深化させ，高度専門職業人の人材養成と，その養成を通じて地域社会並びに国際社会に貢献することを教育・研究上の目的とします。

２．求める学生像

農学分野の技術者及び研究者として国内外で活躍することを志し，学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。

(1) 亜熱帯農学を志向し，持続的農業と農林環境，地域環境の保全と修復及び生命科学や生物資源の開発利用の分野を積極的に深く学ぼうとする人

(2) 幅広い体系的な基礎理論と実践的応用力，研究開発能力を習得する意欲のある人

(3) 専門性，創造性，倫理性のある高度専門職業人として地域社会と国際社会に貢献したい人

(4)〈社会人特別選抜〉教育・研究機関，行政機関，企業等に勤務しており，生涯学習をめざす社会人で，志願する専攻分野で高度な研究に取り組む意欲がある人

３．入学者選抜の基本方針

研究科の特性に応じた多様な選抜を実施し，専門分野についての体系的な知識，研究に関する意欲等を総合的に判断して選抜します。

【一般選抜】

筆記試験（志望分野の科目）により専門分野に関する知識・能力や研究科での学修に必要な基礎学力や研究遂行能力を評価します。外国語スコアにより，英語の読解能力及びコミュニケーション能力を評価します。提出書類（成績証明書等）及び口頭試問によって，専門分野に関する知識や思考力及び研究への適正・意欲を評価します。

【社会人特別選抜，社会人特別選抜（現職高等学校教員）】

提出書類（志願理由書，研究計画書，研究業績報告書）及び小論文により，専門分野に関する知識や思考力や研究科での学修に必要な基礎学力や研究遂行能力を評価します。面接により，専門分野の研究への適正・意欲を評価します。

■教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

広範な知識と深化した学識の涵養を図り，研究能力及び高度の専門的職業を担う卓越した能力を培うために，授業科目をその内容により基礎教育科目，専門科目及び応用展開科目に区分し，以下の３つの方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

① 亜熱帯地域の課題解決へ向けた新たな農学教育の科目の整備
② 広範な知識・技能と応用展開力の修得と農学の専門的な知識の修得をもたらす体系的なコースワークの充実
③ 高度専門職業人の効果的な養成と幅広い分野の複数の教員による組織的指導体制の確立

以上の考え方に基づき，１年次に基礎教育科目を履修し，亜熱帯農学の役割を広い視野から理解し,倫理的な判断と問題解決に対する責任を認識する能力を修得します。１年次から２年次には各コースが提供する専門科目を履修し，専門分野に関する高度な専門的知識を修得し，高度専門職業人としての指導的能力，実践的開発能力を身に付けます。専門展開科目（特別研究）を履修することで，課題解決のため研究の立案・計画・実施・評価などを自律的に行い，自らが行う研究の意義と役割を客観的に説明する能力を身に付けます。

■学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

亜熱帯農学専攻では，環境に調和した生物資源の安定的生産や利用について独創的に取り組み，亜熱帯農学で地域・国際社会に貢献するため，また広範な知識と深化した専門性を併せ持つ高度専門職業人となるため，以下に掲げる専門的知識と能力を修得します。

① 適切に行動できる倫理性を身に付け，亜熱帯農学の役割を広い視野から理解し，問題解決に対する責任を認識する能力
② 課題解決のため研究の立案・計画・実施・評価などを自律的に行い，自らが行う研究の意義と役割を客観的に説明する能力

また，各コースでは次に掲げる指導的能力及び実践的開発能力を身に付けます。

○地域農学コース

③ 地域農林畜産業の振興に携わる指導的能力
④ 地域資源循環システムに基づく持続的農業生産の推進によって，農と社会との共生を構築できる実践的開発能力

○農林環境科学コース

③ 生物資源の機能特性解明を通じ，生物や環境関連分野で活躍する指導的能力
④ 生物多様性の理論を通じて，豊かな環境の保全と管理に貢献できる実践的開発能力

○地域農業工学コース

③　農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善や農業生産から流通・加工に関わる持続可能な食料システムの構築に貢献できる指導的能力

④　情報技術を応用し，工学的手法により地域環境保全や防災の課題，地域開発に関わるエネルギーや持続可能な食料生産の課題に取り組み，問題解決できる実践的開発能力

○生物資源科学コース

③　生物資源関連産業，発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる指導的能力

④　亜熱帯生物資源の機能開発と成分構造解析を通じて，食品機能の開発能力，並びに地域食材の栄養的特性解明を通じて長寿社会の構築に貢献できる実践的開発能力

２．募集人員

専攻名	コース名	分　野　名	募集人員 第１期募集	募集人員 第２期募集
亜熱帯農学	地域農学	農林経済科学，植物生産科学 動物生産科学，農林共生科学	３０名 （社会人特別選抜含む）	５名 （社会人特別選抜含む）
	農林環境科学	植物機能科学，動物機能科学 森林環境科学，生態環境科学		
	地域農業工学	バイオシステム工学，農村環境・基盤整備学，農村環境保全・防災学		
	生物資源科学	生物機能開発学，食品機能科学 発酵・生命科学，健康栄養科学		

３．出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とする。

①　大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

②　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者

③　外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑤　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑥　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

⑦　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑧　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）

⑨　令和 8 年 3 月 31 日までに大学に 3 年以上在学し，又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

⑩　学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

⑪　本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22 歳に達した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(2) ①社会人特別選抜

3.(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で，研究機関，教育機関，行政機関，企業（自営業を含む）等に勤務しており，入学後もその身分を有する者又は生涯学習をめざす社会人で，志願する専攻分野に研究意欲のある者。ただし，勤務経験 3 年以上の者

②社会人特別選抜（現職高等学校教員）

3.(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で，現在，沖縄県内の現職高等学校教員として勤務し，入学後もその身分を有し，志願する専攻分野に研究意欲のある者。ただし，3年以上の教職経験（臨時任用期間を含む）を有し，原則として45歳以下の者

注：大学院設置基準第14条特例（昼夜開講制）による教育の実施（通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を行う）を希望する者

４．出願資格審査

3.(1)の⑨，⑪により出願する者は，出願資格の事前審査を受ける必要があります。

	第1期募集	第2期募集
書類提出期間	令和7年6月23日 ～令和7年6月30日	令和7年9月23日 ～令和7年9月30日
書類提出場所	農学部学務係	

※出願資格審査の結果は，出願受付期間の開始日までに本人宛に通知します。

◎ 必要書類

3.出願資格(1)-⑨により出願する場合
1　事前審査申請書 2　成績証明書（最新のもの） 3　在学証明書 4　履修手引き（授業内容一覧及び卒業要件が記載されたもの）

3.出願資格(1)-⑪により出願する場合
1　事前審査申請書 2　最終出身学校卒業・修了証明書 3　最終出身学校成績証明書 4　研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む) なお，参考資料として，研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類，技能検定認定証明書等を添付してもよい。 ※「外国において学校教育における　15　年の課程を修了した者で，日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において,研究生,研究員等として相当期間（おおむね１年以上とする）研究に従事しており，令和７年3月31日までに22 歳に達する者」を含む。

〈注意事項〉

・3.(1)-⑨の出願資格により入学した場合，当人の学部学生としての学籍上の身分は，退学となります。
したがって，大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなるので注意してください。

・一般選抜に出願予定の者で，現在有職であるか，若しくは入学後有職となることが予定されている者は，必ず事前に志望専攻の予定指導教員と面談を行い，修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

５．出願期間

第１期募集

令和７年７月７日（月）～7月 22 日（火）（土，日，祝日を除く）

第２期募集

令和７年 10 月７日（火）～10 月 21 日（火）（土，日，祝日を除く）

〈注意事項〉

・持参する場合の受付時間は，9:00～17:00（12:00～13:00 は除く）

・郵送の場合は必ず書留速達とし，**出願期間内に到着するよう郵送ください。**
なお，出願期間内に到着しない場合は受理しないので，郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。（**消印有効ではありません**）

・受理された出願書類は，いかなる理由があっても返還しません。

・出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。

・出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

６．出願手続

（１） 出願書類

一般選抜

a	入学願書	本学所定の用紙を用いること。
b	受験票･写真票	本学所定の用紙を用いること。
c	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。
d	成績証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。

e	写真3葉	出願前3カ月以内に撮影した上半身（縦4㎝×横3㎝）とし，受験票，写真票，入学願書に貼付してください。
f	受験許可書	現在，他の大学院に在学中の者又は在職中の者は，その長の受験許可書を必要とします。：様式随意
g	返信用封筒	郵送により願書を提出する者は，受験票送付用のレターパックを同封し，郵便番号，住所，氏名を明記の上，提出してください。
h	検定料納付証明書（大学用）又は振込を証明できる明細書	1） 検定料：**30,000円** 振込については6.(4)参照 ※特例措置対象者（6.(5)参照）は，検定料を振り込まず，申請手続を行ってください。
i	志願者整理票・宛名票	本学所定の志願者整理票・宛名票に記入の上，提出してください。
j	外国語スコアの写し	下記のいずれかの外国語スコアの写し（いずれのスコアも出願書類提出時から2年以内のものに限る。）を提出してください。 ※試験当日，外国語の筆記試験は行わない。 ア）GTEC Academic(2技能) イ）GTEC Business （4技能）又はGTEC Business（2技能）（ただし，原則，公開会場受験に限る。GTEC CBT（高校生対象）及びGTEC（中・高校生対象）は不可） ウ）TOEIC Listening & Reading テスト （TOEIC L&R）（ただし，下記オを除くTOEIC Listening & Reading IPテストは不可） エ）TOEFL iBTテスト（ただし，下記オを除くTOEFL ITPテストは不可） オ）TOEFL ITPテスト又はTOEIC Listening & Reading IPテスト（ただし，原則，琉球大学で受験したものに限る。） カ）Duolingo English Test（スコアが確認できるウェブページを印刷し他の出願書類に同封してください） キ）IELTS（ただし，外国人留学生に限る。）
k	入国査証(Visa)の写し，住民票の写し	日本国内に居住している外国人の志願者は，上記の出願書類のほかに，入国査証(Visa)の写し，住民票の写し（市区町村長発行。記載事項の内容が省略されていないもの。）を提出してください。

1	「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写し	日本国内に居住していない外国人の志願者は,「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写しを提出してください。

①社会人特別選抜

志願者は願書提出日までに必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い,修学条件等について十分確認のうえ出願してください。なお,社会人特別選抜を希望する者は,次の書類と「一般選抜のa～1（jは除く）」を含め提出してください。

（ア）志願理由書（本学所定の用紙を用いること。）
（イ）研究計画書（本学所定の用紙を用いること。）
（ウ）研究業績報告書（業績の有る者。本学所定の用紙を用いること。）

②社会人特別選抜（現職高等学校教員）

志願者は願書提出日までに必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い,修学条件等について十分確認のうえ出願してください。なお,社会人特別選抜（現職高等学校教員）を希望する者は,次の書類と,「一般選抜のa～1（jは除く）」及び「①社会人特別選抜の(ア)～(ウ)」を含め提出してください。

○所属学校長の推薦書【所属学校の長が作成し,厳封したもの（様式任意）】

（２）出願方法
出願書類を「書留速達」で出願期間内に到着するよう郵送してください。郵送の場合は必ず書留とし,封筒の表に「大学院入学願書」と朱書してください（消印有効ではありません)。直接持参する場合の受付時間は、９：００～１７：００（１２：００～１３：００は除く）までとします。ただし、土曜、日曜及び祝日は、受付をしません。

（３）提出先
〒903－0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
国立大学法人琉球大学農学部学務係
TEL　098－895－8738（直通）　FAX　098－895－8734

（４）検定料振込

①検定料 30,000 円（所定の「検定料振込書」を使用してください。）

②振込期間

試験区分	振込期間
第１期募集	令和７年７月７日（月）～７月２２日（火）
第２期募集	令和７年１０月７日（火）～１０月２１日（火）

③振込方法

振込は、a.銀行窓口、b.ATM 又はインターネットバンキングを利用することができます。
なお、振込の際には金額の誤りに十分にご注意ください。
また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

a. 銀行窓口

検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（農学研究科は 461）、を入力してください。

例）

4	6	1	タ	ﾞ	イ	カ	ﾞ	ク	タ	ロ	ウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

b. ATM 又はインターネットバンキング

振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（農学研究科は 461）、を入力してください。

例）

4	6	1	タ	ﾞ	イ	カ	ﾞ	ク	タ	ロ	ウ

・「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」を志願書類に同封して提出してください。

「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（農学研究科は 461）・氏名を記入してください。

留意事項

ア．検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、a．銀行窓口利用で「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合及びb.ATM及びインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」を志願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ．既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

②誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

③特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①、②に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」又は振込を証明できる明細書を貼付して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。）

送付期限：令和8年3月31日

送付先：〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098－895－8058

※上記③に該当する場合は6.(5)④の手続を行ってください。

（５）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和7年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

① 措置内容

検定料の免除： 30,000円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
１）災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半	罹災（りさい）証明書

壊、半壊、流失した場合	
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
２）居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP

（ https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/ ）

・熊本県熊本地方を震源とする地震について：

文部科学省 HP（https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm）

・その他の災害：文部科学省 HP

（https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm）

③申請の方法　申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

④検定料を誤って納付した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に、「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を添えて下記送付先へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払戻の理由は「4.災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択）。

※返還金払戻請求書の送付期限 令和８年３月３１日

提出先：〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

国立大学法人琉球大学　農学部学務係　　電話 098-895-8738

７．研究指導に関する事前相談

・出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出してください。

８．試験の日時及び場所

(1) 一般選抜

試験区分	期　日	科　目	時　間	場　所
第１期募集	令和７年８月 22 日（金）	専門科目 口頭試問	9:30 ～ 11:30 13:00 ～	琉球大学 農学部
第２期募集	令和７年 11 月 15 日（土）			

(2) 社会人特別選抜（①，②ともに）

試験区分	期　日	科　目	時　間	場　所
第 1 期募集	令和 7 年 8 月 22 日（金）	小論文 面接	9:30 ～ 11:30 13:00 ～	琉球大学 農学部
第 2 期募集	令和 7 年 11 月 15 日（土）			

※第１期募集で台風の接近が予想され，入学試験の実施を延期する場合は，予備日を令和 7 年 8 月 26 日（火）とします。その際は，琉球大学農学部ホームページでお知らせしますので，各自でご確認ください。(https://www.agr.u-ryukyu.ac.jp/category/info)

９．選抜方法（入試科目）

入学者の選抜は試験の成績及び出願書類の内容により総合的に判定します。

(1) 一般選抜

・専門科目

志望分野の受験科目の中から１科目を選択（P.１７別表参照）

注：受験する専門科目を入学願書に明記してください。

・口頭試問（志望するコース別に行います。）

・外国語スコア

(2) ①社会人特別選抜

小論文，面接（出願書類は面接の際に参考とします）

②社会人特別選抜（現職高等学校教員）

小論文，面接（出願書類は面接の際に参考とします）

(3) 配点（第１期募集・第２期募集ともに）

一般選抜

専門科目	口頭試問	外国語スコア
100 点	100 点	100 点

社会人特別選抜（①，②ともに）

小論文	面接
100 点	100 点

10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには２～３週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の連絡先までご相談ください。

（１） 申請期限

第１期募集	令和７年６月 23 日（月）まで
第２期募集	令和７年９月 23 日（火）まで

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

（２）申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

① 「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）

②「医師からの意見書」（本学指定の様式）

② その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
全保連ステーション（大学会館）２階
琉球大学障がい学生支援室
電話：098-895-8750FAX：098-895-8791
E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 合格者発表

第１期募集	令和７年９月 17 日（水）13：30
第２期募集	令和７年 12 月５日（金）13：30

農学部棟玄関ロビーに掲示するとともに、琉球大学農学部ホームページ（https://www.agr.u-ryukyu.ac.jp）に掲載します。また、合格者へは郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

12. 入学手続等

（１）入学手続期間

入学手続期間等については、令和８年３月を予定しております。

（２）入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000 円

授業料（前期分）267,900 円（年額 535,800 円）

（注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

13. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようにしてください。

14. 修学のための諸制度（長期履修制度）

長期履修制度は，職業を有している等の事情により，標準修業年限で修了することが困難である場合，希望により修業年限を延長し，かつ，その間の授業料の負担を軽減することができます。

長期履修制度を希望する者は，事前に希望する指導教員と相談の上，入学手続期間中に申請してください。

15. 個人情報の取扱い

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

（１）合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。

（２）入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。

（３）入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。

（４）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生遠考など、修学支援に関わる業務で利用します。

（５）出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。

（６）個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第１８条、第２７条及び第２８条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

16. 追加募集

合格者が募集人員に満たない場合は、第２次募集の試験を実施します。

17. 問い合わせ先

国立大学法人琉球大学　農学部学務係

電話 098-895-8738

18. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/#graduate_school_etc_examination

19. 過去問の開示

受験希望者の方のために、前年度の入試問題を閲覧公開しています。

閲覧時間：9:00～17:00　（12:00～13:00 を除く）

閲覧場所：農学部学務係（農学部棟 2 階事務室）

閲覧に必要なもの：身分証等

閲覧方法：複写（コピー等）や写真撮影は禁止します。

20. 研究指導教員一覧

P.１８～２１参照

別 表

令和8年度琉球大学大学院農学研究科専攻・コース及び分野別受験科目（専門科目）表

令和8年度募集

専 攻 名	コース名	分 野 名	受　験　科　目（専門科目）
亜熱帯農学	地域農学	農林経済科学	農業経済学，農業経営学，森林経営計画学，マングローブ科学（注7）
		植物生産科学	園芸学，植物育種学
		動物生産科学	家畜栄養学，畜産資源経済学，家畜管理学
		農林共生科学	作物栽培環境学，里山環境学，動物共生学，森林共生学
	農林環境科学	植物機能科学	作物学，植物病理学
		動物機能科学	生体機構学，家畜繁殖学，家畜生理学，家畜ゲノム科学
		森林環境科学	造林学（注1），流域防災学（注2），熱帯植物学（注7），森林生態学
		生態環境科学	昆虫学，土壌学，共生微生物学（注7）
	地域農業工学	バイオシステム工学	農産施設工学，農業機械学
		農村環境・基盤整備学	農業水利学（注3）
		農村環境保全・防災学	農村環境保全・防災学（注4）
	生物資源科学（注6）	生物機能開発学	糖鎖科学，多糖類機能化学（注5），遺伝子工学， 生理活性物質学，遺伝資源応用学（注7），植物環境応答学（注7）
		食品機能科学	食品化学，食品機能学，食品利用加工学，食品成分化学
		発酵・生命科学	応用微生物学，発酵微生物学
		健康栄養科学	栄養学，食品学・栄養教育，食品生物工学

（注1）樹木生理学，林木育種学，森林保護学を含む。

（注2）森林工学・砂防学，森林土木学，森林水文学を含む。

（注3）各科目には，応用力学1問，水理学1問が含まれる。

（注4）農村農地の整備，土地環境保全学，土の物理学，農村農地防災工学，農村計画学を含む。

関数電卓の持ち込み可（ただし，プログラム機能やグラフ機能を有しないものに限定）

（注5）植物生理学を含む。

（注6）生物資源科学コースの全ての専門科目に生化学5分野を含む共通問題を含む。

（注7）熱帯生物圏研究センターに所属する指導教員の受験科目

農 学 研 究 科 指 導 教 員 の 研 究 内 容 一 覧及び受験科目一覧

地域農学コース

教員名	研究内容紹介	受験科目名
教　授 **内藤 重之**	食料・農産物の流通，地産地消と食育，農業・農村の６次産業化，都市農村交流による地域振興に関する研究などに取り組んでいる。	農業経済学
教　授 **木島 真志**	森林経済学・自然資源経済学分野における数理モデル・シミュレーションモデル・最適化モデルの開発およびそれらを用いた用いた経済・政策分析に取り組んでいる。	森林経営計画学
准教授 **山本 淳子**	農業経済学，農業経営学を専門とし，農業経営の世代間継承と新規就農の促進に関する研究や，農産物に対する消費者行動に関する研究を行っている。	農業経営学
教　授 **嬉野 健次**	園芸学・造園学，育種学。花卉園芸作物の遠縁交雑における交雑不和合性の打破および花色の発現機構の解明に関する研究を行っている。	園芸学
准教授 **Md. Mizanur Rahim Khan**	園芸学，育種学。野菜の育種に関する研究，特にナスの雄性不稔に関する研究を行っている。	園芸学
准教授 **仲村 一郎**	育種学，作物学。熱帯作物生産及び植物開発に関して，資源管理的観点からの持続可能な農業生産システムを見据えた作物生産科学に立脚したアプローチで研究を行っている。現在の研究課題として，稲の塩ストレス耐性に関する研究，有機性廃棄物の堆肥技術の開発と利用に関する研究などに取り組んでいる。	植物育種学
教　授 **杉村 泰彦**	飼料を含めた農畜産物流通，食品ロスの発生抑制，および食品循環資源の再生利用など循環型社会における農畜産業のあり方について，社会科学的・経済学的視点からの研究に取り組んでいる。	畜産資源経済学
教　授 **伊村 嘉美**	沖縄県で発生する食品系未利用資源を畜産用飼料として有効利用するための技術開発に取り組んでいる。	家畜栄養学
助　教 **江藤　毅**	亜熱帯地域における動物の適切な管理手法の確立に向けた産業動物，在来家畜，野生動物の行動と生理生態に関する研究に取り組んでいる。	家畜管理学
教　授 **Md. Amzad Hossain**	Field crop production, Plant Ecology and Physiology, Weed science and herbal plant science, Soil, fertilizer and herbicide management, 環境保全型農業，ウコン品種開発・商品開発に関する研究に取り組んでいる。	作物栽培環境学
准教授 **陳 碧霞**	森林ツーリズム・レクリエーション学，文化的景観，風水林，ホームガーデン，アグロフォレストリーに関する研究に取り組んでいる。	里山環境学
准教授 **波平 知之**	GAP（Good Agricultural Practices），暖地型牧草の栽培利用，亜熱帯地域での肉用牛・肉用ヤギ・肉豚生産，家畜排せつ物の処理と利用などフィールドを使った実用研究に取り組んでいる。	動物共生学
准教授 **高嶋 敦史**	沖縄県北部・やんばる地域の森林管理に関する研究を中心に，屋久島・ヤクスギ林の長期林分動態解明などにも取り組んでいる。	森林共生学
准教授 **渡辺 信**	西表島を中心として，主にマングローブ生態系を対象とした研究を進めている。近年ではドローンを用いて台風攪乱からのマングローブ生態系修復過程の研究を進めている。	マングローブ科学

農 学 研 究 科 指 導 教 員 の 研 究 内 容 一 覧及び受験科目一覧

農林環境科学コース

教員名	研究内容紹介	受験科目名
教　授　**田場　聡**	未知病害の原因解明や拮抗微生物および未利用植物を活用した環境配慮型防除技術の開発を行っており，特に熱帯作物類の病害や線虫病（土壌線虫病，マツ材線虫病）を研究対象としている。	植物病理学
准教授　**関根　健太郎**	熱帯作物の植物ウイルス病害の防除を目指した診断・防除技術の開発を目指し，植物とウイルス間の相互作用の基礎的知見を分子生物学的手法を駆使して探求している。	植物病理学
准教授　**諏訪　竜一**	植物生産能のソース・シンク関係，環境ストレスに対する植物応答および沖縄県在来の作物栽培の研究を行っている。	作物学
教　授　**建本　秀樹**	沖縄在来豚アグー及びウシの生殖細胞における凍結保存の研究，また，体外でのブタやウシの正常受精卵作出に関わる卵胞卵の体外成熟ならびに体外受精に関する研究を行っている。	家畜繁殖学
教　授　**佐々木　慎二**	黒毛和種で発生する胎子や子牛死亡など遺伝的不良形質の原因をゲノム科学の手法を用いて特定するとともに，これらの発症の生理的メカニズムを解明し，農家が安心して黒毛和種を生産できるよう研究を行っている。	家畜ゲノム科学
准教授　**金野　俊洋**	組織学，発生生物学に関する研究，特に胚着床・胎盤形成における子宮と胚の相互作用についての研究を行なっている。	生体機構学
助　教　**長嶺　樹**	未利用資源を活用した自家製育成用飼料を用いた子ヤギの育成と成長特性の解明に関する研究，採食量の調節メカニズムの解明に関する研究を行っている。	家畜生理学
教　授　**谷口　真吾**	亜熱帯樹木の開花結実，種子生産における繁殖生理や種子散布などの繁殖生態に関する基礎研究，亜熱帯林の多樹種共存機構の解明とともに針広混交林化による生物多様性を低下させない森林再生に関する応用研究を行っている。	造林学
准教授　**Bam Razafindrabe**	Integrated Watershed Management, Disaster Risk Management, Social-Ecological Resilience, 統合的流域管理，災害リスクマネジメント，災害レジリエンス等に関する応用研究を行っている。	流域防災学
准教授　**宮沢　良行**	地球温暖化など環境の変化が森林の水利用に影響を及ぼし成長を抑制する現象を解明している。さらに，森林の劣化が水・炭素循環とその季節変動にどのように影響するかを研究している。	森林生態学
准教授　**金城　和俊**	土壌有機物の性質や機能に関する研究および農耕地の土壌改良，森林地の炭素循環，土壌生成の研究も行っている。	土壌学
准教授　**鶴井　香織**	昆虫及び魚類の捕食回避や性選択に関連する内容を中心に，行動生態学的研究を行なっている。また，外来魚や検疫害虫を対象とした保全生態学・応用昆虫学的研究を行っている。	昆虫学
准教授　**下地　博之**	社会性昆虫のアリを中心に主に集団行動や細菌共生に焦点を当てた進化生態学的研究と，外来種アリ種に着目した保全生態学的研究を行っている。	昆虫学
教　授　**梶田　忠**	マングローブ植物やマメ科植物などの熱帯植物を対象に，系統，分類，進化，生態に関する基礎研究，および，保全生物学的研究を行っている。	熱帯植物学
助　教　**松浦　優**	昆虫とそれらの共生微生物の多様性，系統進化，発生，ゲノムや遺伝子についての分子・細胞・個体レベルの基礎研究を行っている。また，亜熱帯地域の冬虫夏草類の分離培養，分類，保存，進化生態学的研究を行っている。	共生微生物学

農 学 研 究 科 指 導 教 員 の 研 究 内 容 一 覧及び受験科目一覧

地域農業工学コース

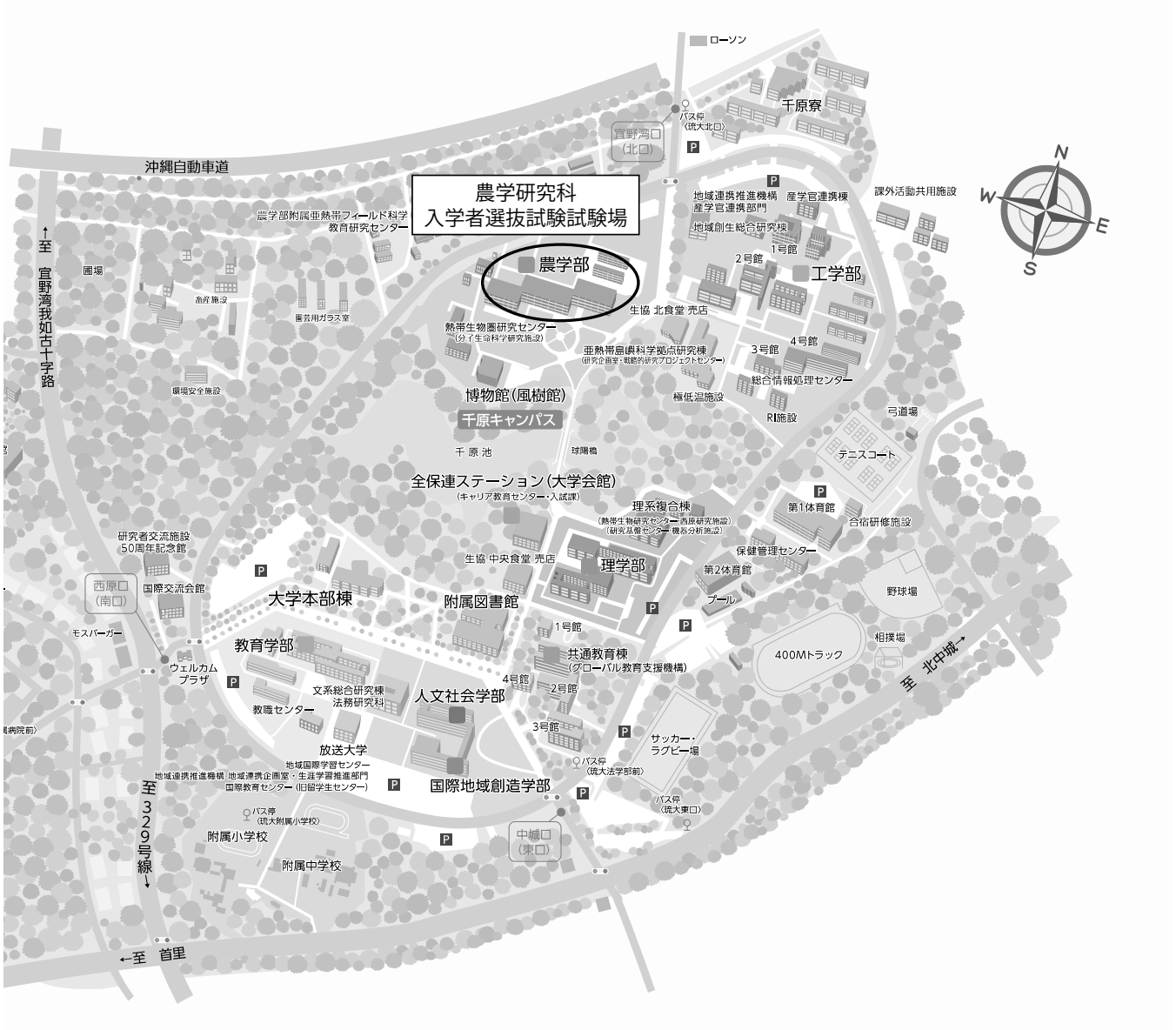
教員名	研究内容紹介	受験科目名
教　授　**酒井　一人**	環境水文学，農業流域における物質循環の解析。	農業水利学
准教授　**仲村渠　将**	農業水利分野において、沈砂池を含む水路流れを対象とし、赤土の微細土粒子を分離除去できる流れの特徴と制御を研究し、沖縄の農業農村整備の機能強化を目指している。	農業水利学
教　授　**中村　真也**	農村地域の環境保全，土砂災害の防止・軽減に関する研究を行っている。特に，土の強度測定やリアルタイム観測に基づく斜面の不安定化機構の解明，施設栽培改善を通じた地下ダム水利活用の健全性の維持・向上に取り組んでいる。	農村環境保全・防災学
教　授　**木村　匠**	農村地域の環境保全，土砂災害の防止・軽減に関する研究を行っている。特に，斜面や農地における土・岩の物性，透水性および強度の特性解明に取り組んでいる。	農村環境保全・防災学
助　教　**安元　純**	陸と海が地下水を介して接している沿岸域の水環境の保全と農村環境保全を目標に，琉球石灰岩分布地域における地下水流動や物質輸送特性について研究を実施している。	農村環境保全・防災学
教　授　**鹿内　健志**	ICT（情報通信技術）を活用し，沖縄や亜熱帯地域の農業生産情報を収集・解析することで，農家の暗黙知（知恵・技能）を形式知（数値・文字化）とし栽培管理などの農作業の最適化を目指す研究を行っている。	農業機械学
教　授　**平良　英三**	近赤外分光法（NIR）によるサトウキビの品質評価やマンゴー栽培支援のシステム開発など光を利用した農産物の品質情報収集とその解析・評価技術の研究・開発を行っている。	農産施設工学

農 学 研 究 科 指 導 教 員 の 研 究 内 容 一 覧及び受験科目一覧

生物資源科学コース

教員名	研究内容紹介	受験科目名
教　授　**小西　照子**	陸上植物や海藻から細胞壁多糖を抽出し，その構造を決定するとともに多糖類の生合成の仕組みや生物学的機能を明らかにする。さらに，多糖を産業利用する応用研究を行っている。	多糖類機能化学
教　授　**金子　哲**	植物や海藻の細胞壁多糖を食品素材，化粧品素材，バイオ燃料等の様々な用途へ利用するための研究を行っている。特に用途開発の鍵となる糖加水分解酵素の探索や酵素の構造と機能について研究を行っている。	糖鎖科学
准教授　**福田　雅一**	ギンネム・オジギソウの持つミモシンと呼ばれる物質の合成や分解に関わる酵素・遺伝子，およびその物質が細胞・個体に与える影響等について研究を行っている。	遺伝子工学
教　授　**石井　貴広**	天然物有機化学，創薬・農薬化学。亜熱帯沖縄由来の未・低利用な生物資源より，新たな医薬品や農薬等の開発に結びつく有用な天然生物活性物質（低分子有機化合物）の取得を目指している。	生理活性物質学
教　授　**高良　健作**	熱帯・亜熱帯の農産物および食品を研究材料とし，食品機能性物質の分離や構造解析，さらに定量法の開発を行っている。	食品化学
准教授　**稲福　征志**	ヒトの健康増進に資する亜熱帯生物資源の探索とその寄与成分と発現機序の解明を行い，それらを高度利活用化した産業応用を目指している。	食品機能学
准教授　**高橋　誠**	亜熱帯生物資源の食品加工を通じて，物理化学的な特性や生体調節機能の変化を探り，実用的な食品利用加工方法の開発を行っている。	食品利用加工学
准教授　**Yonathan Asikin**	熱帯・亜熱帯地域の食資源における美味しさに関する研究，特に香り成分における嗜好特性を加工・調理へ活用する研究を行っている。	食品成分化学
教　授　**外山　博英**	酢酸菌の生理学的特徴と代謝変換機構・耐熱性獲得機構の解析，黒麹菌と泡盛酵母の分子生物学的解析，ならびにピロロキノリンキノン（PQQ）の生合成機構の解析。	発酵微生物学
教　授　**平良　東紀**	応用微生物学および蛋白質工学。泡盛醸造に係わる微生物及びその酵素の研究，乳酸菌及びその増殖因子の研究，植物の生体防御蛋白質の構造と機能に関する研究を行っている。	応用微生物学
准教授　**水谷　治**	泡盛・焼酎醸造に用いられている黒麹菌の分子生物学研究に必要な技術基盤の開発と，それらを用いた応用育種を通して，泡盛・焼酎業界の発展や他産業への黒麹菌の有用活用法の創生を目指している。	発酵微生物学
准教授　**上地　敬子**	泡盛醸造に係わる微生物とその酵素の研究，抗カビ活性を示す酵素の探索・機能解析に取り組んでおり，並びに酵素の立体構造と機能の相関性の解明を目指している。	応用微生物学
准教授　**橘　信二郎**	沖縄の伝統発酵食品『とうふよう』製造に用いられる紅麹菌がつくる生理活性物質や酵素に関する研究，ならびにピロロキノリンキノン（PQQ）の生理機能解明に関する研究を行っている。	食品生物工学
准教授　**大西　竜子**	食物中難消化性成分の消化管に対する生理的作用と，腸内細菌の代謝物を介したヒトの生活習慣病の予防・改善の可能性について，主にモデル動物を用いて研究を行っている。	栄養学
准教授　**宮城　一菜**	島ヤサイ等の沖縄産農産物を中心にメニュー開発を行い，それらの官能評価や機能性成分分析について研究を行っている。さらに，これらの食材を活用して食育に繋がる栄養指導も実施している。	食品学・栄養教育
教　授　**瀬尾　光範**	様々な環境下での植物の生存メカニズムを，個体レベルの生理学，分子生物学，遺伝学等の手法を用いて明らかにする。特に，植物ホルモンと呼ばれるシグナル因子の生合成と輸送に着目した研究を行っている。	植物環境応答学
准教授　**岩崎　公典**	亜熱帯生物の持つ遺伝資源を利活用したヒトの健康促進に関する研究を行っている。特にガンや肥満などの生活習慣病を改善できる有用生物資源の探索と，その機能解明に関する研究を進めている。	遺伝資源応用学

【農学研究科入学者選抜試験　試験場】



令和８年度琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

閲覧用

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

出 願 に 関 す る チ ェ ッ ク 票

※出願者は書類を必ず確認し、右端欄にチェックして、この順番で書類を提出してください。

No	書類	該当者	確認欄 ☑
1	出願書類確認票	全員	
2	入学願書	全員	
3	受験票・写真票	全員	
4	卒業証明書又は卒業見込証明書	全員	
5	成績証明書	全員	
6	受験許可証	他の大学院に在学中の者又は在職中の者	
7	返信用封筒（レターパック）	郵送で願書を提出する者	
8	検定料納付証明書又は振込を証明できる明細書	全員	
9	志願者整理票・宛名票	全員	
10	外国語スコアの写し	全員	
11	入国査証の写し	日本国内に居住している外国人志願者	
12	住民票の写し	日本国内に居住している外国人志願者	
13	入国カードの写し又は旅券（パスポート）等の写し	日本国内に居住していない外国人志願者	
14	志願理由書	社会人特別選抜の出願者	
15	研究計画書	社会人特別選抜の出願者	
16	研究業績報告書	社会人特別選抜の出願者	

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出ください。

事前相談を行った日付	
事前相談を行った教員名	

閲覧用

令和8年度琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

受験番号	※

入　学　願　書（第1期募集・第2期募集）

※該当する募集に〇を付してください。

貴大学農学研究科（修士課程）に入学志望に付，所定の書類を添え出願いたします。

令和　　年　　月　　日

琉 球 大 学 長　殿

（フリガナ）

氏名　　印

写 真 貼 付

正面向き上半身脱帽
3ヵ月以内に撮影したもの

（縦4cm×横3cm）

生 年 月 日 （西暦）　　年　　月　　日生				
本人への連絡先	〒 TEL　　メールアドレス			
本人以外の連絡先	氏 名		続 柄	
	現住所	〒 TEL　　メールアドレス		
選抜区分	1．一般選抜　　2．社会人選抜　　3．社会人選抜（現職高等学校教員） （該当事項の番号を〇で囲むこと）			
志 望 コース 名		志 望 分 野 名		
コース		分　野		
受 験 科 目	専 門 科 目			
出 願 資 格	（西暦）　　年　　月 大学　　学部　　学科　（卒業・卒業見込） 事前出願資格審査結果（　出願資格　有　：　出願資格　無　）			

備考　（1）願書記入の際は，募集要項熟読のうえ，記入漏れのないようにすること。
（2）履歴事項は，裏面に記入すること。
（3）事前出願資格審査を受けた場合は、事前出願資格審査結果に「出願資格　有」に〇を記入すること。
※印欄は記入しないこと。

履　　歴

	（西暦）年・月	事　　項
学歴（高等学校卒業以上）	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
職歴	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
賞罰	・	
	・	

上記のとおり相違ありません。

令和　　年　　月　　日

氏 名　　印

閲覧用

令　和　8　年　度

琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

写　真　票

選抜区分 （該当事項を〇で囲む）	第1期募集　・　第2期募集 一般選抜・社会人特別選抜 社会人特別選抜（現職高等学校教員）	
受験番号	※	
フリガナ		性別
氏名		
志望コース及び分野名	コース 分野	
受験科目 専門科目		

写真貼付欄 入学願書と同一の写真を貼ること （縦4cm×横3cm）	出身大学 大学 学部 学科 専攻 年　月 （卒業・卒業見込）	※出席確認 専門科目	
		口頭試問	

（注）※印以外の箇所は，志望者が記入すること。

（※切り離さないこと）

令　和　8　年　度

琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

受　験　票

選抜区分 （該当事項を〇で囲む）	第1期募集　・　第2期募集 一般選抜　・　社会人特別選抜 社会人特別選抜（現職高等学校教員）	
受験番号	※	
フリガナ		性別
氏名		
志望コース及び分野名	コース 分野	
受験科目 専門科目		

受験心得 （1）試験開始15分前までに試験室に入室すること。 （2）試験開始後30分を経過してから試験室に到着した者は，受験させない。 （3）不正行為のあったものは，直ちに退場を命ずる。 （4）受験に際しては，本票を必ず持参すること。	写真貼付欄 入学願書と同一の写真を貼ること （縦4cm×横3cm）

（注）※印以外の箇所は，志望者が記入すること。

閲覧用

記入上の注意

○　**「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，振込先（枠内に〇印）》**
○　振込手数料については，志願者本人負担となります。
○　金融機関窓口で「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
○　「検定料納付証明書（**大学用**）」は**出願書類に同封して提出**してください。

検　定　料　振　込　書

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書　（大学用）

★出願書類に同封して提出下さい。

※依頼日	年　月　日	
金　額	¥30,000－	
※振込先	いずれかの銀行に〇をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）　428711
		沖縄銀行我如古支店（普通）　1540366
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）　0563358
		みずほ銀行那覇支店（普通）　1478859
※依頼人（志願者）	※募集区分	461
	（フリガナ）	
	氏　名	
令和8年度　琉球大学　検定料 農学研究科		

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人→大学）

（大学提出時に切離し）

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年　月　日		手数料
振込金額		¥3000円	
※振込先	いずれかの銀行に〇をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）　428711	
		沖縄銀行我如古支店（普通）　1540366	
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）　0563358	
		みずほ銀行那覇支店（普通）　1478859	
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学		
※依頼人（志願者）	（フリガナ）		
	氏　名		
備　考	令和8年度　琉球大学　検定料 農学研究科		

上記のとおり領収しました

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人）

取扱店へのお願い
〇太枠内を打電して下さい。
〇募集区分番号、フリガナの順に打電して下さい。

（振込時金融機関で切離し）

振　込　依　頼　書　電信扱

※依頼日	年　月　日	振込指定	電信扱	手数料	
※振込先	いずれかの銀行に〇をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	金額	¥3000円
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	内訳 現金	
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859		
受取口座名人	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ﾘｭｳｷｭｳﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人 琉球大学				
（依頼人志願者）	※募集区分 461	※フリガナ			
	※　氏　名				
	※（住所） （電話番号）				
備考	令和8年度　琉球大学　検定料 農学研究科 【納入期間】 第1期募集：令和7年7月7日（月）～7月22日（火） 第2期募集：令和7年10月7日（火）～10月21日（火）				

勘定科目

取扱金融機関収納印

（　取　扱　店　用　）

閲覧用

受験番号	※

志願者整理票

楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号	氏　名 （左半分に姓、右半分に名、 上にフリガナをつけること）	性 別	本　籍 都道府県 （外国籍の場合は国籍）	出身大学の名称 （上にフリガナをつけること）
※				

宛名票

この宛名票は、合格通知及び入学に関する書類を送付する際に使用するものです。
枠からはみ出さないよう2枚すべてに郵便番号、住所、氏名を記入してください。

□□□−□□□□	□□□−□□□□
様	様
（※　　）	（※　　）

※印欄は記入しないこと。

閲覧用

琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

＊ 受験番号

令和　　年　　月　　日

志 願 理 由 書

1. 志願者氏名　　印

2. 志願理由　社会人特別選抜を志願する理由をできるだけ具体的に記入すること。

＊印欄は記入しないこと。

（社会人特別選抜用）

（社会人特別選抜用）

閲覧用

研　究　計　画　書

琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

氏　　名		志願理由と関連づけ以下にまとめること。

（社会人特別選抜用）

（社会人特別選抜用）

閲覧用

研究業績報告書

琉球大学大学院農学研究科（修士課程）

氏　名		論文名及びその概要を以下にまとめること。

（社会人特別選抜用）

（社会人特別選抜用）

閲覧用

令和8年度

琉球大学大学院農学研究科入学試験出願資格事前審査申請書

琉球大学大学院農学研究科の出願資格事前審査を受けたいので，下記のとおり申請します。

※出願資格該当事項を〇で囲んでください。

出願資格	(1)－⑨		(1)－⑪	

フリガナ 氏　名	印	現　職	
生年月日 （年齢）		現住所	
志望コース		志望分野	希望指導教員	

学　歴（高校卒業時から記入すること。）

年　月	事　項
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

職　歴

年　月	事　項
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

研究・教育歴（研究・教育歴証明書を添付すること。）

年　月	事　項

琉球大学大学院農学研究科

検定料免除申請書

令和　　年　　月　　日

国立大学法人
　琉球大学長　殿

（請求者）
受付番号（大学側で記入）
出願研究科　　農学研究科
志願者氏名（フリガナ）　　印
住　　所
電　　話

下記のとおり被災しましたので，罹災証明書等を添付の上，検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

□全壊　　□大規模半壊　　□半壊　　□流出
□学費負担者死亡又は行方不明
□福島第一原子力発電所事故による避難区域等

令和　　年　　月　　日

返還金払戻請求書

国立大学法人
琉球大学長　　殿

請求者
〒
住　　所
フリガナ
氏　　名　　印
電話番号

私が令和　　年　　月　　日に納付した検定料　　円について，以下の理由により払戻を請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退　※受験辞退ではなく，出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当
5. その他（　　）

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀 行	支 店	
預金種別	1　普 通	2　当 座	
口座番号	（ 店 番 ）	―	（口座番号）

預金種別欄は，該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]
※ 請求者は志願者本人としてください。
※ 保護者等，請求者以外の口座名義を指定する場合は，続柄も記入してください。
※ ゆうちょ銀行口座へ振込を受ける場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
※ 返還には，請求書受理後2～3ヵ月程度かかります。
※ いずれの場合でも，振込手数料は返還しません。

送付先　〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL：098－895－8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書（大学用）
をこの枠内に貼り付けのうえ，ご提出ください。

※払戻理由のうち，「4.災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択された場合は，貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は，受領書をご同封ください。